明日へ向かって

第３学年　学年だより
令和５年　　６月７日
第２１号

運動会を終えて

今回も運動会を終えて感じたことを書いてもらった作文の中から、ぜひみなさんにも読んでほしいものを２組から２人分紹介します。まずはソーラン節で人一倍声を出して、練習にも本番にも臨んでいたこの方！　題して「**まけた**」

運動会で負けた者に残るのは、練習の疲れと虚無感だけだ。なんてことはなく、勝った組への祝福の言葉と、今年の運動会は楽しかったなという気持ちしか出てきませんでした。

私は小学校、中学校の運動会で合わせて１回しか勝ったことがなく、少し悔しい気持ちがあり、元々運動が得意ではないので、「今年の運動会でも負けるのかな」「やりたくないな」と思っていました。

けれど、運動会練習が始まると、そんな気持ちも消え去り、とても楽しかったです。私は運動は得意ではないけれど、好きなので、毎日体育があり、結構楽しかったです。あと、夜寝るときに布団に入るとすぐ寝つけて嬉しかったです。きっと半分以上これが理由だと思います。

最後の運動会だからか、周りのみんなのやる気がものすごく、練習でこんなに本気出すのは何でだろう、と思いながら私も雰囲気に押されて、運動会が楽しみになっていました。運動会が楽しみになったとはいえ、突然動くことが得意になるわけではなく、運動ができないかわりに、ソーラン節で大きな声を出すことを頑張りました。

本番では負けてしまったけれど、今年は、「また負けてしまった」という気持ちではなく、少し悔しいけど、楽しかったなという気持ちしか湧きませんでした。ソーラン節では、勝ち負けは関係ないけど、みんなの役に立てたかなと思いました。

続いて、１００m走では堂々とした走りを見せ、見事に１位に輝いたこの方です！　題して「**運動会を終えて**」

２７日に運動会を終えて運動会のことを色々と振り返ってみると、今回の運動会は今までで一番良いものになったと感じる。

跳んでも跳んでもなかなか回数が伸びず、１日で１０回も跳べない日もあった大縄跳び。練習では必ず転んでまともにコースを進むことができなかったムカデ競争。少ない時間でみんなで創り上げたソーラン節。課題が多く、少ない練習時間の中、私たちは中学校生活で最後の運動会ということを心に留め、最後の最後までベストを尽くすことができた。私も不安と緊張と焦りの中、一生懸命に取り組み、運動会でも最高の１日を過ごすことができたと思う。

特に私にとって印象的な競技はムカデ競争とソーラン節だった。ムカデ競争では２組で初めて女子も男子も１回も転ばず完走することができた。残念ながら１組に数m差で負けてしまい、惜しくも３位という結果になってしまったが、私はここまで成長した２組に感動と誇らしさを感じていた。

そしてソーラン節だが、運動会の最後を飾り多くの観客が見ている中なので、大変緊張したが林先生がソーラン練習で話してくださった言葉を胸に自分自身の精一杯のパフォーマンスをした。私自身、こんなに踊るのが楽しいと思ったのは初めてだったし、学年全体で何か１つのものを目指すのがここまで素晴らしいと思ったのも初めてだった。

今回の運動会は自分にとって特別なものだった。結果は勝利とはならなかったが、競技を通して自分自身とクラスが成長できたことは、この運動会に大きな意味があったと思う。また、負けたという悔しさもあるので、次の合唱コンクールでは優勝を目指し、３組にリベンジを果たしたい。

運動会も終わり、修学旅行に向けての準備が着々と進んでいます。班編成や係分担も決まり、コース検討が始まりました。１日目の奈良公園班別行動、２日目の京都市内班別行動、３日目の京都市内タクシー班別行動について考えています。係会も行われ、各係、自分の与えられた仕事を確認しました。昨年度の修学旅行は台風が接近している中での実施でしたが、ほとんど雨に降られることなく実施することができました。今年度の修学旅行も天候に恵まれたいですね。